

「つくば市民白書 2020」の発行に関する相談会 議事録

2019年3月30日（土）10:00～

つくば市市民活動センターにて

（出席）熊谷（年金者組合つくば支部）、平山（財政白書実行委員）、横井（新婦人つくば支部）、富樫（市民の会）、佐藤良子（新婦人つくば支部）、佐藤皓（お日さま発電所）、橋本（市議）、山本（市民の会・白書 2012 編集長）、原田（白書 2012 事務局長）
（欠席連絡）寺門（白書 2012 執筆者）、野崎（白書 2012 編集者）、安田（白書 2012 執筆者）

1. 「市民白書 2012」の発行に関わった山本、原田、野崎（敬称略）の呼びかけにより、上記の日程で相談会を開いた。呼びかけ文は、次ページ（別紙）の通り。

2. 呼びかけ人の山本から、白書 2020 発行の意義について説明があり、2020 年春を目途に発行が可能かどうか、さまざまな角度から検討を願う旨の要請があった。

3. 白書 2012 実行委員会事務局長の原田からは、前回の白書のまとめ、白書会計の報告があった。残金 2 万円余は、白書 2020 に引き継ぐ。前白書は相当冊数の残余があること、ホームページ、メーリングリスト、メールアドレスは手直しして利用が可能だと報告された。

4. 前回と比べると取り組みの期間が 1 年ほど短い。限られた時間の中で、大上段に構えた精緻な調査・分析は不可能である。しかし、多様な分野からの活動報告の羅列では、市政の検証・評価にはならない、等の議論があった。

5. 五十嵐市政をどのような視点で点検・評価するか、に関しては、市長公約 300 余項目の評価、つくば SDGs（持続可能な発展目標）の取り組み、つくば Society5.0（科学技術基本計画が提唱した人間中心の未来社会）の取り組みと評価、公共施設等管理計画の現状と評価など、について議論した。

6. 「五十嵐市長による市政の動向を念頭に置き、さまざまな分野から市民の目線でつくばの暮らしの現状をとらえ、何が変わり、どこが良くなり、どこに問題があるかについて検討し、課題と提言をまとめて冊子にし多くの市民に知らせる」ことを目的として、市民白書 2020 を発行していくことを決定した。

第 1 回つくば市民白書 2020 実行委員会開催のご案内

○日 時： 2019年4月13日（土） 10:00～12:00

○場 所： 市民活動センター（029-855-1175 ノバホール近接）

前回の執筆者に加え、つくば財政白書実行委員会、つくば・市民ネットワークなど新たな団体・個人にも呼びかけることになりました。初めての方もふるってご参加下さい。

(別紙)

2019年3月15日

つくば市民白書関係者各位

元つくば市民白書 2012 実行委員

山本千秋 (元編集委員長)

原田 泰 (元事務局長)

野崎浩司 (元編集委員)

_____様

つくば市民白書 2020 の発行について

陽春の候、皆さまにおかれましては、その後もさまざまな運動でご活躍のことと存じます。

「つくば市民白書 2012」が出版されてから、7年が過ぎました。市民白書は 2000 年と 2008 年にも出されており、おおむね4年に一度、オリンピックが開催される年、つくば市長・市議選が行われる年に発行されております。

この間、大きな市民運動として、2015年に総合運動公園に関する住民投票がありました。投票した住民の8割を超える反対で運動公園建設は白紙撤回され、市民白書から4年後の2016年に、「つくば市総合運動公園に関する住民投票運動記録集」が発行されました。さらに2年後の2018年には、「つくば市の財政白書」が市民運動の成果品として出版されています。

住民投票運動は、結果として、つくば市長が交代するきっかけとなり、2016年の選挙では「市民第一」を掲げる現市長が誕生しました。それから3年余り、市民運動に関わる人たちも全力で推した現市長が、市民の願いに沿う行政を進めているか、検証・評価する時期を迎えています。

その観点から、「市民第一」を掲げるつくば市政の評価をテーマとした「つくば市民白書 2020」を発行することは、一定の意義があるものと考えます。しかし、「市民白書 2012」の発行で中心的な役割を果たされた、実行委員長の河村さん、編集委員の矢澤さん、緒方さんが鬼籍に入られ、残されたものも高齢化が進んでおり、市民白書発行は易しい事業とはなりません。

つきましては、「つくば市民白書 2020」の発行に関して相談する会を、下記の日程で開催いたします。ぜひお集まりいただき、知恵だしにお力添えを賜りますようお願いいたします。

記

○日時： 平成 31 年 3 月 30 日(土) 10:00 から

○場所： 市民活動センター (吾妻 1-10-1 電話 028-855-1171)

○議題： ・白書発行の意義と可能性の相談

・市政の点検・評価の視点と白書の輪郭の検討 (発行する場合)

(この文書は、前回白書の主な実行委員や執筆者を中心に、お届けしております)

以上